

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 日本大学歯学部 特任教授 石上友彦 先生
2. 演 題 部分床義歯設計の要点
3. 日 時 2019年11月14日(木)17:00～18:00
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)1階 第1講義室

5. 要 旨

義歯設計は支持・把持・維持の原則と咬合のバランスを確認する事が大切です。基本的に補綴前準備として、残存歯の形態を義歯のために積極的に修正したほうが好結果を得られます。しかし、患者さんが残存歯の処置を望まない場合や修復物を再製作することにより、抜歯に至ってしまう症例もあります。さらに経済的な問題、患者さんの要望など要素が多彩です。義歯製作には、咬合に対する歯根膜と粘膜の支持、義歯が受ける側方力に対する把持力、義歯全体としての維持力、義歯を安定させる咬合、そして患者さんと歯科医師の信頼、これら全てのバランスを考慮した義歯の設計が必要です。そして、義歯装着当初の口腔内を管理することが必要不可欠です。

連絡先:三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)